

## 【就労事例部門】

### MSP賞/日本眼科医会賞 株式会社ラック サイバー・グリッド・ジャパン 次世代セキュリティ技術研究所

## 視覚障害エンジニアの人材育成と各自の 経験・スキルの強みを生かし活躍できる環境の構築

当研究所では2018年以降視覚障害エンジニアの採用を定期的実施し、現在7名の視覚障害者が技術職として勤務しています。受け入れに当たっては、2009年より当社で勤務している視覚障害のエンジニアの経験と周囲のサポート実績を元に、受け入れ態勢の整備・OJTを通じた育成体制を構築しました。その後実際に採用・育成を進める中で、継続的に体制・OJT内容のブラッシュアップを実施し、開発未経験で入社したメンバーも短期間で戦力として成果を上げられる環境を構築しています。視覚障害があっても取り組みやすいテーマの選定や必要な環境の準備、各自の見え方に応じた業務の割り振り・障害上難しい部分を支援する体制の構築を推進し、各自の障害状況・スキルレベルに応じて成果を上げられるよう取り組みを行っています。

また、当研究所では、2020年より視覚障害学生を対象としたインターンシップを実施してきました。例年数名の学生に参加いただき、実践的なシステム開発やAI関連の実習を通じて、エンジニアとして仕事をするイメージをもってもらい、進路選択の参考としていただいています。実際その参加者の中には新卒で当社に入社したメンバーもあり、入社後さらにOJT等を通じてスキルアップしつつ活躍してもらっています。

#### 審査員コメント

視覚障害を持つ方々に、エンジニアとしてのスキルを身に付けていただくための素晴らしいサポート態勢と環境構築に敬服します。

On the job trainingにより、短期間で目に見える成果を感じることができれば、自信に繋がり、困難を克服してチャレンジする意欲をはぐくむと思います。

視覚障害者の方々は視覚障害というハンディがある一方で、卓越した記憶力、思考力などを兼ね備えておられます。自身にリミットを設けず、しっかりと能力を伸ばして、生き甲斐ある将来を目指していただきたく、この取組みにエールを送りたいと思います。



### 株式会社ラック サイバー・グリッド・ジャパン 次世代セキュリティ技術研究所

サイバーセキュリティ分野のリーディングカンパニーである株式会社の研究部門の一つで、脅威インテリジェンスに関する研究開発を行っています。研究所立ち上げ当初から参画している視覚障害エンジニア1名を中心に採用・育成を実施し、現在視覚障害を持つエンジニア7名を含む12名体制で研究に取り組んでいます。